

令和7年度第3回八代市社会教育委員会 会議録

日時：令和8年3月17日（火）午後2時00分～

会場：八代市公民館 会議室A B

出席委員 生田委員、高倉委員、松本委員、青濱委員、坂本委員、三栗野委員、徳田委員、薄田委員、井上委員

欠席委員 木村委員、山本委員、押方委員

事務局 泉課長、右谷社会教育係長、中川生涯学習推進係長、岡川管理係長、宮地参事、田島参事、山鹿主任、木本社会教育指導員

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

- (1) 令和7年度生涯学習課の主な事業について（報告）
事務局より説明。

【質疑応答・意見】

- (1) 人権教育事業について
(委員)

②の連携事業の夏の研究集会ですけれども、参加人数は書いてありますが、学校現場の職員、行政の方だけでなく、一般の参加の方の人数とかが分かりましたら、教えていただければと思います。

(事務局)

第49回の研究集会の一般参加者数ですけれども、まず午前中に行われました全体会につきましては、445名中、一般参加者数は8名。午後の分科会、基礎講座につきましては、990名中、一般参加者数は13名というふうになっております。

こちらに関しましては、終了後に行われました総括学習会におきましても、今後どうやって一般参加を増やすのかということは、検討課題ということで取り上げられております。

(委員)

以前は啓発集会という形だったものが、少し変わった経緯もあるかと思うんですけれども、もう少し一般の方々にも参加を促していく、周知の工夫が必要かなと思います。

学校関係の職員とか教育関係者だけでなく、一般参加の方も増えるような形で、今後また周知の方をよろしく願いいたします。

(3) 二十歳の集いについて

(委員)

本当に事務局の方もご苦労されていると思いますけど、式典会場に入場しない参加者に対しての工夫、それから式典会場の敷地内での飲酒や、こういう残念な報告がございます。

各地の二十歳の集いでは、やはりいろんな工夫をされて、式典への参加、それから会場内とかのマナーとか、いろいろ工夫をされているかと思いますが、再発防止策の検討ということですが、どのような方向で検討されているのか、もし具体的な案をお聞かせ願えればと思っております。

(委員)

もう1つ、私の方ですけれども、参加者の割合、全体に対する割合は年々増えてきているのか、減ってきているのか、というところと、先ほど外国人参加者への案内という話が出ましたけど、実際に式典にどれくらいの方々が参加されているのかということも含めて、教えていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

まず、会場内でのマナーについてお答えさせていただきます。

今年度もアリーナの方で開催いたしました、終了後に割れた瓶であったり、いろんなごみが散乱していたりして、事務局の方で清掃、分別等を行ったところなんですけれども、施設管理者の方からも苦情がありました。再発防止策としては、毎年、警察の方を抑止力として10人ぐらい来ていただいているんですけれども、効果が十分ではなかったもので、警察の方とも連携をしながら、会場外では職員の巡視体制だったり、警戒体制だったりをもっと強化していかなければいけないと思っております。各市町村の方に伺いをして、どういう対策を取られていますかというところで聞き取りをしたんですけども、なかなか有効的な手段がまだ見つからないということで、皆さんから意見をいただきながら、再発防止策をやっつけていかなければいけないと思っております。

手段としては、会場外にいるスタッフを増やしたり、告知する看板を増やしたりなどを検討しているところでございます。

外国人参加者の方の割合なんですけれども、今年が対象者1,054人のうち、150人ぐらい対象者がいらっしゃいましたが、今年の参加者は4名です。毎年、1・2名だったりしているところでございます。変動はあるんですけども、10%から15%の間で推移しております。八代市では外国人技能実習生の方も増えていることもありまして、増加傾向にはあります。

全体の参加者数の傾向なんですけれども、少子化で対象者数は減少傾向にあるものの、近年は700人前後で推移しているところでございます。これは当日受付を通った方の人数になります。天候にも左右されることがありまして、今年は雪が降っていた中での開催でしたが、737名の参加でした。

今年はいろんな手段を使って中に入らせていただくよう工夫をさせていただきました。イベント当日は、式典のあとに実行委員会が企画したイベントがありまして、今年は総額60万円ぐらい当たる抽選会を行いました。その抽選会があるのでぜひ中に入ってくださいという告知の看板などを準備

して、中に入るよう努力したところでございます。

一定の効果はあったのかなと思っておりますけれども、まだ不十分な部分もたくさんあると思うので、今後また違う手段も検討していかないといけないかなと思っております。

(委員)

各自治体、ニュース等を見ておりますと、いろんな工夫の仕方に対応されていると思います。例えば抑止力という意味で言いますと、渋谷のハロウィンのときのDJポリスのように、単に注意するだけではなく、発想を変えて呼びかけるような方法もあるのかなと思います。

あと、私は会場の中に入ったことがないんですけども、例えば中学校別に集まったりする機会はあるのでしょうか。中学別の交流会的なものですね。

例えば、ほかの自治体では同窓会的な催しをされることもあるようですが、八代市では結構かなり多くの人数になりますから難しい面もあるかもしれません。

ただ、中学校というのは非常に重みがあると思うので、例えば中学校別に写真撮影のサービスをするとか、そういった同窓会的な要素を入れると、中に入るきっかけにもなるのではないかと思います。せっかくのお祝いですので、感謝を持ちながら気持ちよく迎えられるような集いになればなと思っております。

(6) 公民館等の社会教育施設について

(委員)

二見自然の森についてですけども、私、八代市で一番いい施設じゃないかなと思っていて、夏休みは毎日犬の散歩に行っているんですけど、いつ行ってもきれいに草が刈ってあるんですよ。たぶん地域の人が刈っておられるんだと思うんですけど、すごくきれいに管理してあるんです。ただ、トイレが使用禁止になっていたりして、なんかもったいないなと思ってるんですよ。すごくいいところなんですけど、もっとアピールして住民の方に伝えれば、非常にいい施設だと思います。

何か今後、改修とか、活用の計画とかあるのでしょうか。

(事務局)

二見自然の森なんですけど、以前はキャンプ場として運営していましたが、市民有識者の皆さまによる事業仕分けにより廃止という形になり、現在は自然の森ということで運営しているものでございます。そのため一般開放しております、多くの方の憩いの場としてお使いいただいているところでございます。管理に関しましては、地元の方と、また職員で、毎日のように草刈りだとか、駐車場の整備だとか、トイレの清掃だとか、いろんなことをやりながら管理しているというところなんです。そういったところを見ていただいて、ありがたいと思っております。

施設としての利用は、申請があれば使っていただくこともできるんですけども、今年度は保育園の小さな子どもたちの利用であったり、地域の遠足の行き先に使われたりといったところで使われているというところでございまして、そういったのは数字には上がってこないところでございます。

宣伝はもっとしていかなくちゃいけないと考えているところではありますが、ほかの利用方法は

ないかということで、全国に発信できる広報サイトにも掲載しております。過去にはグランピング事業者が検討されたこともございます。ただ、二見自然の森に行くまでの道が大変狭いので、そこがネックになっているというところがございます。

あと、トイレにつきましては、修繕をしながら、浄化槽の状況を見ながら使えたり使えなかったりというところがございます。飲み水としてもあまり適さないというところがあり、そのあたりが課題になっております。そこも解決しながら、今後どんなふうに使えるかというところを発信、宣伝していきたいと考えているところでございます。

(委員)

私の方で一点だけ、15ページの改善報告の中で、八代市社会教育センターについて「見直し案に沿って、方針の検討を開始した」と書いてありますけれども、どのような方針の検討なのか、ご説明いただきたいと思っております。

(事務局)

社会教育センターですが、坂本と泉にございまして、廃校となった施設を社会教育施設として使うという形で利用が始まったものでございます。ただ、実際に社会教育に使われているかといいますと、実際は地域の集まりだったり、話し合いだったり、そういったものに中心に使われている場所が多くございます。中には建物を一切使わずに、グラウンドゴルフのみグラウンドを使われているセンターもございます。

そういった中で、この社会教育センターについて、どこまでの範囲を維持して、市の予算を使って整備していく必要があるのかというところを検討していかなければいけない時期が来ております。その中で、この見直し案に沿ってというところで、過去に令和2年7月豪雨より前に、地域の方の声を聞いたものがございます。こちらを現在の状況に合わせまして、それを見直し案として、来年度また地域の方に、「以前はこういうことでしたけれども、現在こういうふうに進めていこうと思っておりますが、いかがでしょうか」ということで、来年聞きに行こうかと計画をしているところでございます。

その結果によっては、複合化、転用、廃止、もしくは継続というところで変わってきますけれども、地元のいろんなご意見を大切にしながら進めてまいりますので、しっかりと丁寧に話していきたいと考えているところでございます。

(8) 生涯学習推進事業について

(委員)

生涯学習推進事業の希望講座なんですけど、いろんな講座がありますけど、その応募人数は、定員より多いのか少ないのか、各講座どういう状況なのか知りたいです。実際、募集人数、定員よりも多くの方が希望されているのか、あるいは定員よりもっと少ないのか、そのあたりをちょっとお聞きしたいと思っております。

(事務局)

募集人数に対しての参加者なんですけれども、講座によってまちまちでありまして、現在の傾向でいきますと、デジタル系は非常に多くて、募集人数をオーバーして抽選をするというような形が多くあります。

一方で、少ない場合は、定員 20 人に対して 10 名に満たないような講座もございます。そういった場合は、その原因を見ながら、広報の仕方も工夫しております。SNS 等に投稿することもありますので、そういうので周知を図っているところです。一概に多い少ないとは言えないところがありまして、講座によってかなり差があるという状況でございます。

(9) 家庭教育学級について

(委員)

11 月 6 日に行われた講演会ですけど、それを聞きたかったんですけど平日開催で行けなかったんです。とても頑張っておられる方なので、例えば平日開催じゃなくて土日開催とかで、もっと多くの方たちに話をしてもらおうとかっていうことはできなかったのかなと思うんですけど、なぜ平日開催だったんでしょうか。

(事務局)

講師の方ともお話をした中で、糖尿病に関する週間行事の関係で東京の方に行かれないといけないということもありまして、なかなか土日の都合がつかなかったという事情があり、平日開催となったところでございます。

(2) 令和 8 年度生涯学習課の主な事業計画 (案) について

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

(委員)

家庭教育学級の充実ですけども、今の保育園とか小学校とかで、授業が終わった後の家庭教育の学びの場というのがありますよね。昔、私たちが子どもを育ててた時は、保育園単位、学校単位で母親学級みたいなものがあったんです。

今は市の家庭教育学級しかないように見えるんですけど、なかなか市のものには行けない。でも、保育園単位とか小学校単位で家庭教育の学びの場があったら、すごくいいんじゃないかなと思うんです。そういうのが今どうなっているのか、実情を教えてくださいということです。

(事務局)

確かに家庭教育学級を開設しているところも、開設していないところもございます。

その中でも、小学校、中学校、幼稚園、保育園も家庭教育関係の組織はあるんですけども、終わった後に何かやるというのは、その施設に応じてまちまちなんですよね。やっているとところもあれ

ば、やっていないところもある。ただ組織はされているという部分がありまして、事業報告も上がってきております。

ある園では、頻繁にされているところもあれば、全体研修に参加されるだけのところもあります。ですから、施設に応じて、その濃さが違ってきているかなというように思っております。

(委員)

私はやっぱり、お母さんたちにとって一番大事な学びじゃないかなと思っていて、自分でもそういう思いがあるものですから、こういう研修会なり講習会を受けることは本当に大事だと思っています。

(事務局)

おっしゃる通りですけれども、なかなか今は家庭の生活様式も変わってきておりまして、昔のように女性の方が日中ずっと家庭にいらっしゃるという形ばかりではなく、今は仕事に出られている方も多いので、なかなか参加ができないという声も聞いております。

(委員)

単位PTAごとに家庭教育学級をされているところもありますし、されていないところもあります。親の学びプログラムを使われないで、別の講師を呼んでやっているところもあると思うので、この資料だけを見るとこれだけしかないように見えますけど、実際には別の形でやっている学校もあると思います。

(委員)

人権教育事業の中で、各種事業研究会への参加促進、それから人権課題を把握するというのがとても大事だと思います。参加されている方は、もともと意識を持って参加されていると思うんですけれども、今いろんな問題が広がってきて、いろんなところで課題になってきていると思うんです。

この第4期の計画に関わらず、人権課題の把握ということ、それから市民の方の意識調査とか、そういうことを考えておられるのかどうかですね。今、新たな課題も広がってきていますので、そのあたりをちょっと伺ってみました。

(事務局)

市民の方々に向けての意識調査ということなんですけれども、こちらに関しましては、市長部局の人権政策課の方が実施しております。ちなみに令和6年度は、市役所職員向けに意識調査を実施して統計を取っておりまして、それを踏まえた上で、令和7年度に市民向けに意識調査を実施していらっしゃいます。

3,000名をランダムに抽出してアンケートをして、1,200程度の回答があったということで聞いております。現在、その統計につきましては、人権政策課の方で集計中ということで、結果がまとまり次第、ホームページ等で公開するというところで伺っております。また、その結果等も踏まえた人

権啓発、教育事業の推進について、各種団体等とも連携しながら、いろいろ協議をしていくような形になるのではないかと考えております。

(3) 令和7年度地域学校協働活動について（報告）

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

(委員)

地域未来塾、2ページですけどね。5校で実施されておりますけども、回数もかなり多いと思います。その中で、こういう回数を重ねていかれて、生徒及び指導者の感想等があれば、どんなふうにも子どもたちの変容が出てきたのか知りたいし、先生方から見て、子どもたちにとってプラスになっていることがあるのかですね。せっかく予算を使ってやっておられますので、そのあたりを出してほしいなと思います。

(事務局)

実際、生の声というのがなかなか上がってきていなくて、12月にアンケート調査を行っているところなんですけれども、いろんなご意見をいただいた中で、地域未来塾に関する声はありませんでした。

(委員)

私には、日奈久中学校の3年生で卒業したばかりの息子がおりますけれども、おかげさまで、息子は家に帰ることなく、学校でずっと勉強していて、無事に高校合格できました。

親としてはありがたいことですし、やっぱりこうやって支えてもらってるのは、子どもたちにはいいことだなと思っています。家では勉強しないんですけど、学校ではこうやってやっているということがあるので、すごく子どもにとっては良いことかなと、親としては思っています。

(事務局)

日奈久中学校におかれましては、それまでは夏休み期間中だけでしたので、今年度から月2回程度実施されているので、やっぱり一定の効果があって回数を増やされたのかなと思います。

効果としては、学習習慣の定着や学力向上につながっているのではないかと考えているところでございます。

(委員)

できればですね、こういうことをせっかくされてるから、生徒の声ですね、そのあたりも必要じゃないかなと思うんですよね。お願いいたします。

(事務局)

この地域未来塾は、中学生を対象に、家庭の様々な理由でなかなか塾に行けない子どもたちを支援しているような状況ではあるんですけども、なかなか担い手がいないというのがありまして、学校でもやりたいということがあっても、学習支援者の方々が足りていないという状況です。

もっと伸びしろがある事業ではあるんですけども、なかなかその担い手を集めるというのが非常に課題だと考えているところでございます。

(事務局)

今後は、実施されている学校については、アンケートを取ったり、そういう声を聞いていければというふうに考えております。

(委員)

昭和小学校の放課後子ども教室ですけれども、昭和小学校には学童保育所はありません。ただ、月曜日、子どもたちはとても楽しみにしています。ここに書いてあること以外にも、竹とんぼ作りなど、いろんな活動をしていただいて、昨日がちょうど閉級式でした。

先週の金曜日は3年生の発表会をさせていただき、保護者もたくさん来ていただいて、とても子どもたちは充実した活動をしております。昨日の閉級式では、地域の方と子どもたちが抱き合っただけ泣くシーンもありました。

本当に子どもたちが地域の方と一緒に活動させていただき、地域の方によって子どもたちが成長するといった姿が見られて、この事業に対して非常に感謝を申し上げます。これが1つの小学校としての目玉になるんじゃないかなと思うくらい、とてもいい活動をさせていただいていることを報告いたします。

(4) 令和8年度地域学校協働活動計画(案)について

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

(委員)

全体的なことですけど、八代市の子どもの学力低下というものはどんなもんですか。全国と比較してどのくらいとっていらっしゃいますか。学力は低迷してるなど。そのあたり、どんな感じで捉えておられますか。

(事務局)

今、委員の方から言われましたように、八代市の子どもの学力低下というところで見ますと、全国的に見ても非常に低いというふうに言われております。

そのために、学校教育課の方ではいろんな取り組みをしているということ聞いておりますけれども、やはり学力の底上げを図るためには何をしたらいいのか、今、学校教育課でも検討されているということで聞いております。

(委員)

よろしくないですね。いろいろ要因が絡んでいるかと思えますけれども、よろしくお願いいたします。

(5) 熊本県社会教育委員連絡協議会第2回理事会について（報告）
事務局より説明。

【質疑応答・意見】

無し

4. その他

【質疑応答・意見】

無し

5. 閉会